

The background features a large, abstract graphic composed of several overlapping, glowing blue and white circular and oval shapes. These shapes create a sense of depth and movement, resembling light rays or lens elements. The colors transition from a bright white at the center of the shapes to a deep blue at the edges, with soft gradients and highlights that give the graphic a three-dimensional, ethereal quality.

TAMRON[®]

産業の眼を創造貢献するタムロン

第62期 報告書

2008年1月1日～2008年12月31日



- 株主の皆様へ 1-2
- セグメント別事業の概況 3-4
- 下半期トピックス一覧 5-6
- フォーカス! 7-8
- 連結財務諸表 9-10
- 個別財務諸表 11
- CSR活動報告 12
- 会社概要 13-14
- 最新情報 裏表紙



代表取締役社長 小野 守男

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、当社第62期(2008年1月1日から2008年12月31日まで)の営業概況についてご報告申し上げます。

当期における世界経済は、欧米主要国のリセッション入りが確認される等、世界同時不況の様相を呈してまいりました。特にリーマンショック以降は信用収縮が急速に進み、米国を中心に企業収益や雇用環境の悪化、個人消費の落ち込みが見られました。

一方わが国経済は、世界経済の景気後退や急激な円高・株安等の影響により、企業収益の減少や生産の大幅な減少等が見られ、雇用環境が急速に悪化するなど景気の後退感が強まりました。

当社グループ関連市場におきましては、デジタルスチルカメラの出荷台数は前期比増加となったものの、価格の下落や景気後退による第4四半期以降の出荷台数の落ち込みが見られました。

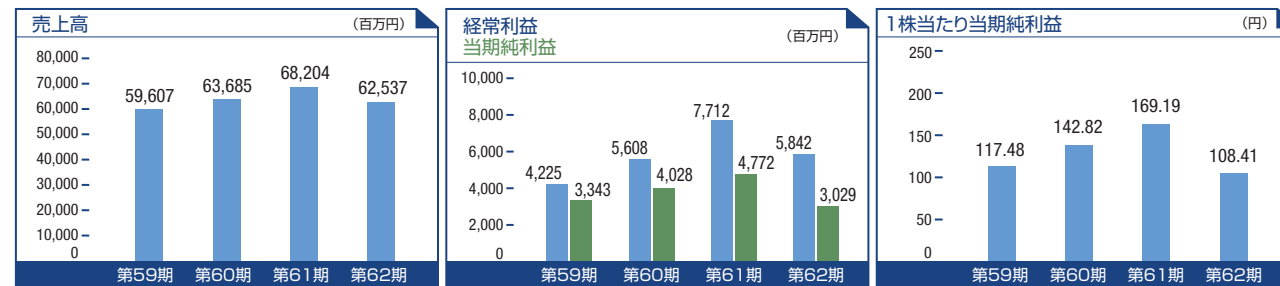
このような環境のもと、当社グループの当期における経営成績は、写真関連事業、特機その他事業は増収となったものの、前年に比べ為替レートが円高ドル安で推移した影響もあり、レンズ関連事業が大幅な減収となったことで、売上高は625億37百万円(前期比8.3%減)となりました。利益面につきましては、売上の減少によって売上総利益が減少したことに加え、販管費が増加したため、営業利益は61億98百万円(前期比29.5%減)、経常利益は58億42百万円(前期比24.2%減)となりました。また、当期純利益は、厚生年金基金脱退損失引当金繰入額および投資有価証券評価損の計上により特別損失が増加したため、30億29百万円(前期比36.5%減)となりました。

なお、年間配当金につきましては、業績が減収減益となりましたが、前年と同額の1株当たり50円(中間配当金は25円、期末配当金は25円)といたしました。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

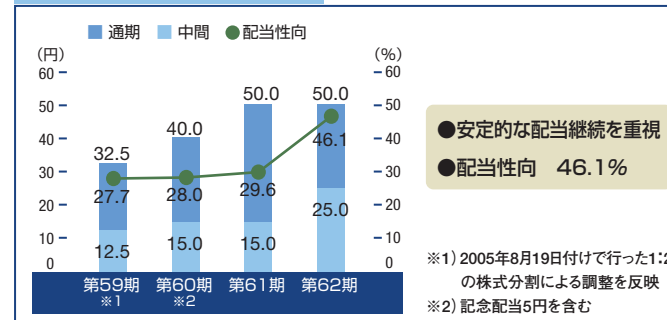
2009年3月

業績の推移



※2005年8月19日付にて1:2の株式分割を実施しており、1株当たり当期純利益については、遡及修正を行った数値を記載しております。

配当金について



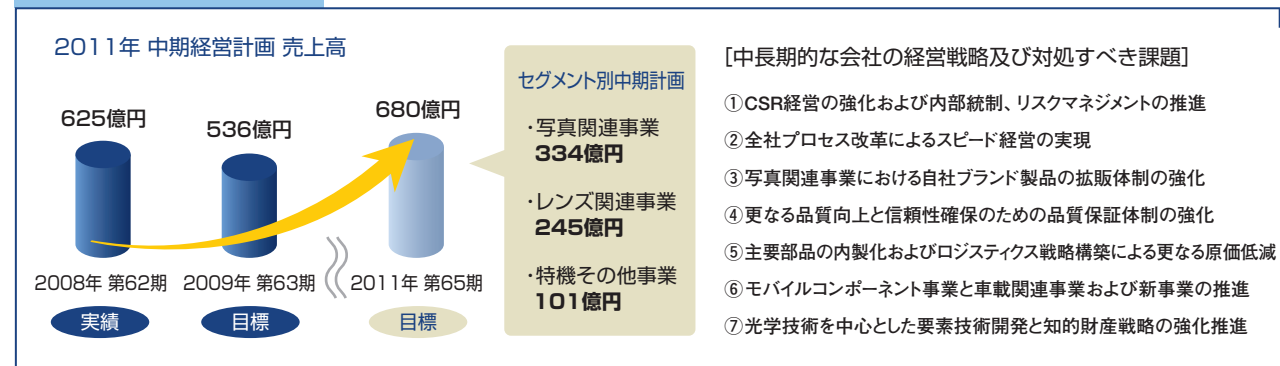
次期の見通しについて

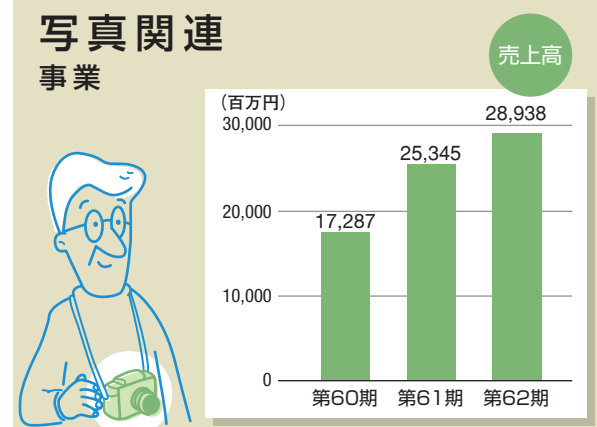
次期の見通しにつきましては、金融危機の影響等により深刻な世界同時不況の様相を呈しており、厳しい状況が続いていくものと思われます。当社グループ関連市場におきましては、レンズ交換式デジタル一眼レフカメラの成長が鈍化し、コンパクトデジタルカメラは減少するものと思われます。

このような状況のもと、あらゆる分野で魅力ある新製品を投入するとともに、コストの低減に努め、次期の連結業績につきましては、売上高536億円(前期比14.3%減)、営業利益42億円(前期比32.2%減)、経常利益36億円(前期比38.4%減)、当期純利益25億円(前期比17.5%減)を見込んでおります。

※為替レート1米ドル=90円、1ユーロ=120円を前提としております。

中期の見通しについて



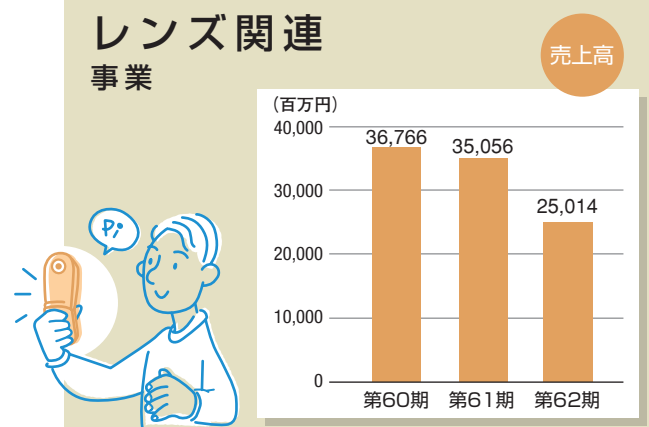


写真関連事業では、自社ブランド製品は昨年4月に大口径望遠ズームの新製品SP AF70-200mm F/2.8 Di LD [IF] MACRO (Model A001)を発売し、昨年9月には戦略商品である世界最高倍率15倍を誇る超高倍率ズームの新製品AF18-270mm F/3.5-6.3 Di II VC LD Aspherical [IF] MACRO (Model B003)を発売いたしました。国内での自社ブランド製品の売上が伸び悩んだ他、円高の影響により、欧米販社の利益率が低下いたしました。一方、OEM関連は好調に推移いたしました。

このような結果、写真関連事業の売上高は289億38百万円(前期比14.2%増)、営業利益は35億円(前期比29.8%減)となりました。



デジタル一眼レフカメラ用交換レンズ

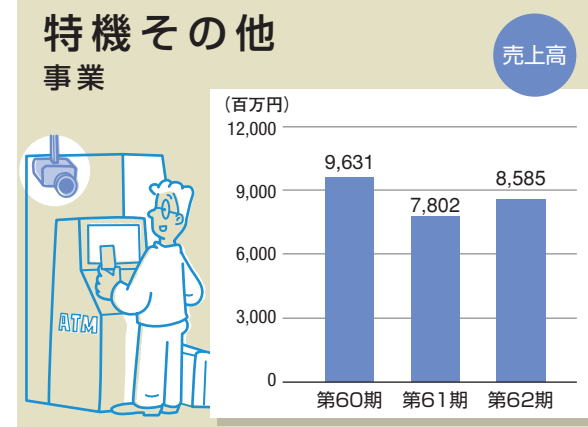


レンズ関連事業では、デジタルカメラ用レンズおよびビデオカメラ用レンズは、価格競争激化や需要の変動等の影響に加え、円高ドル安の影響を受けたことで大幅な減収となりました。携帯電話用レンズユニットは、ズームレンズの発売時期の遅れの影響等により減収となりました。

このような結果、レンズ関連事業の売上高は250億14百万円(前期比28.6%減)、営業利益は35億6百万円(前期比28.3%減)となりました。



デジタルカメラ用レンズ・ビデオカメラ用レンズ

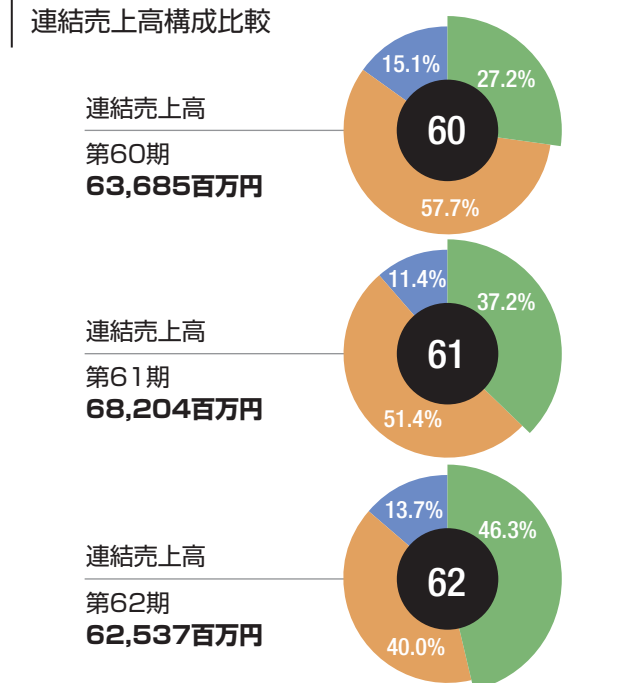


特機その他事業では、CCTVカメラ用レンズはセキュリティ需要の高まりを背景に、一体型監視カメラ用レンズが好調に推移いたしました。

このような結果、特機その他事業の売上高は85億85百万円(前期比10.0%増)、営業利益は13億44百万円(前期比78.7%増)となりました。

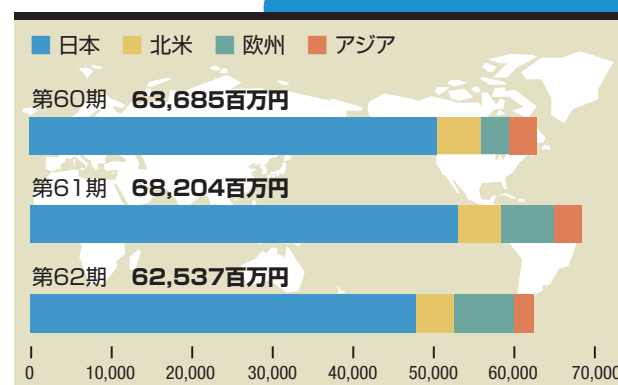


監視カメラ用レンズ



写真関連事業が第一位の事業へ

所在地別売上高



2008年 **7** July

8 August

9 September

10 October

11 November

12 December

製品

PRODUCTS

一眼レフ

- AF 18-270mm F/3.5-6.3 Di II VC (Model B003) 開発発表

PRODUCTS

一眼レフ

- AF 28-300mm F/3.5-6.3 XR Di VC (Model A20) EISAフォト アワード「ヨーロッパ・コンシューマ・レンズ・オブ・ザ・イヤー 2008-2009」受賞



PRODUCTS

一眼レフ

- AF 18-270mm F/3.5-6.3 Di II VC (Model B003NII・ニコン用) 発売
- SP AF70-200mm F/2.8 Di (Model A001・ペンタックス用) 発売
- SP AF70-200mm F/2.8 Di (Model A001・ソニー用) 発売
- SP AF90mm F/2.8 Di (Model 272E NII・ニコン用) 発売

CCTV

- メガピクセル対応 1/2型 パリフォーカルレンズ 4-12mm F/1.4 Cマウント (Model M12VM412/M12VG412) 発売

PRODUCTS

一眼レフ

- AF 18-270mm F/3.5-6.3 Di II VC (Model B003・キヤノン用) 発売
- SP AF10-24mm F/3.5-4.5 Di II (Model B001NII・ニコン用) 発売

CCTV

- メガピクセル・IR対応 1/3型 一体型カメラ用 パリフォーカルレンズ3.0-9mm F/1.2 (Model DF010) 開発発表
- メガピクセル対応 1/3型 一体型カメラ用 パリフォーカルレンズ3.0-9mm F/1.2 (Model DF009) 開発発表
- メガピクセル対応 1/3型 18倍一体型カメラ用ズームレンズ4.7-84.6mm F/1.6 (Model DF003) 発売



PRODUCTS

一眼レフ

- AF 18-270mm F/3.5-6.3 Di II VC (Model B003)「ビジュアルグランプリ 2009 デジタルカメラグランプリ 金賞」受賞



CCTV

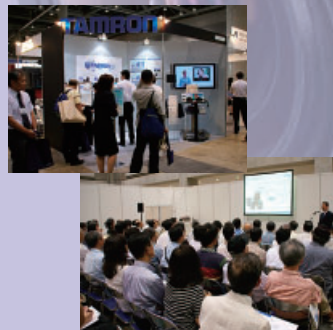
- IR対応 1/3型 高倍率一体型カメラ用 パリフォーカルレンズ2.8-10.5mm F/1.2 (Model DF005) 発売
- 1/3型 超広角一体型カメラ用パリフォーカルレンズ 2.4-6mm F/1.2 (Model DF006) 発売
- IR対応 1/3型 超広角一体型カメラ用 パリフォーカルレンズ2.4-6mm F/1.2 (Model DF007) 発売
- 12倍 高倍率ズームレンズ搭載 ミニドームカメラ (Model DCV12PR4:PAL) 発売



展示会・イベント

EXHIBITION & EVENT

- 「日経IRフェア2008 STOCK WORLD」出展 (8/22~8/23)



EXHIBITION & EVENT

- 「ASIS INTERNATIONAL 2008」出展 (アメリカ) (9/15~9/17)
- 「フォトキナ2008」出展 (ドイツ) (9/23~9/28)



EXHIBITION & EVENT

- 「Security Essen 2008」出展 (ドイツ) (10/7~10/10)
- 「IFSEC India 2008」出展 (インド) (10/16~10/18)

EXHIBITION & EVENT

- 「08国際画像機器展」出展 (12/3~12/5)
- 「中国国際社会公共安全製品博覧会 2008」出展 (中国) (12/9~12/12)



その他

OTHERS

- 「自己株式の取得」実施 (取得期間 8/6~9/11)

OTHERS

- 東京事務所移転 (9/16~)
- CSR活動「出前授業」実施 (3回目)

OTHERS

- 「タムロン鉄道風景コンテスト入賞作品写真展」開催 (10/15~10/21) 詳しくはP.12をご覧ください

AF 18-270mm F/3.5-6.3 Di II VC (Model B003)



「15倍」でシャッターチャンスを活かし、「VC*1」で手ブレを軽減!

世界初・世界最大倍率*2「15倍」ズームと先進の手ブレ補正機構「VC」を搭載した最新鋭モデルが登場しました。35mm判換算で広角28mmから超望遠419mm相当もの画角を、レンズ交換無しに1本でカバー。ワイド撮影から、笑顔にグッと近づいた超望遠撮影まで、とっておきの1枚を撮影することができます。このレンズは、全国有力販売店からなる審査によって選ばれる「ビジュアルグランプリ2009 デジタルカメラグランプリ 交換レンズ部門 金賞」および1700万人の価格.comユーザーが選ぶ「価格.comプロダクトアワード2008 レンズ部門 金賞」を受賞いたしました。

*1:「VC」は バイブレーション・コンペンセーション の略です。
*2:2008年8月現在。APS-Cサイズ相当 デジタル一眼レフカメラ専用交換レンズを対象とした当社調査。



SP AF10-24mm F/3.5-4.5 Di II (Model B001)

高精度大口径ガラスモールド非球面技術によって焦点レンジ「10-24mm」が実現!

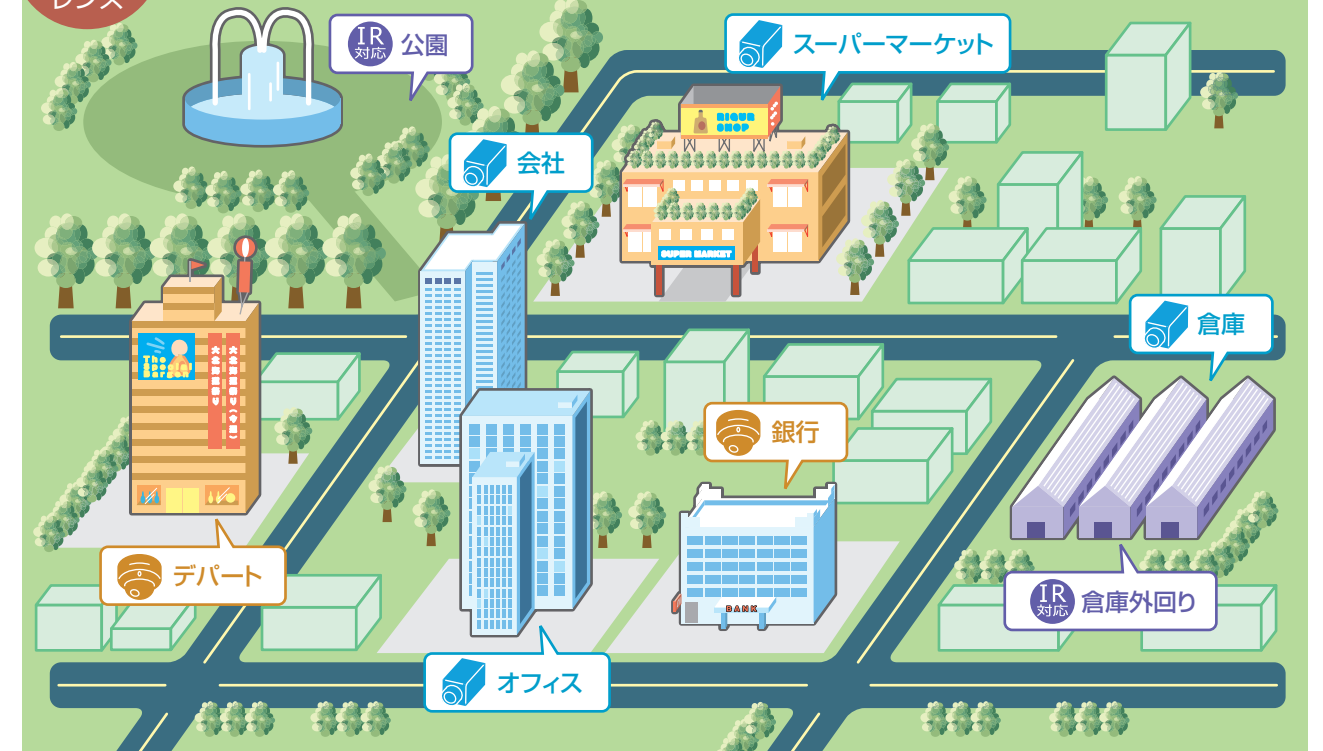
デジタル専用超広角ズームで最大の、「10-24mm」という幅広い焦点距離を可能にし、35mm判換算で、超広角16mmから準広角37mm相当までの幅広い広角域をカバーしています。超広角域では視野を遙かに超えた雄大な光景を1枚の写真に収め、準広角域では人間に近い視野でスナップ撮影を行う。様々な広角表現をこの1本で撮影できるズームレンズです。

高精度な大口径ガラスモールド非球面レンズと3枚の複合非球面レンズを使用することで、球面収差やコマ収差、ディストーションなどの諸収差を補正しており、高い描写性能を実現しています。




高画質監視
カメラ用
レンズ


タムロンの監視カメラ・監視カメラ用レンズはこんなところで使用されています。



監視カメラの基礎知識



防犯カメラの形には大きくわけて「カメラ型」と「ドーム型」の2種類があります。カメラ型の場合は、設置していることがわかりやすいので、それ自体が不審者に対する警告にもなります。逆に飲食店などに設置をする場合などは、あまり防犯カメラが目立たないようにという要望もあり、そのような場合は当社が昨年発売したドーム型を取り付けることが多くなります。また、当社では、高画質監視を実現するメガピクセル対応レンズのラインナップを拡充しており、より安心な街づくりに貢献しています。



Mega Pixel

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

区分	当期 2008年12月31日 現在	前期 2007年12月31日 現在
〔資産の部〕		
① 流動資産	30,063,549	32,925,193
② 固定資産	19,112,922	19,226,100
資産合計	49,176,471	52,151,293
〔負債の部〕		
③ 流動負債	13,369,164	14,058,812
④ 固定負債	2,680,395	2,831,093
負債合計	16,049,560	16,889,905
〔純資産の部〕		
⑤ 株主資本	34,632,377	34,795,826
評価・換算差額等	△1,505,465	465,560
純資産合計	33,126,911	35,261,387
負債純資産合計	49,176,471	52,151,293

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

区分	当期 自2008年1月1日 至2008年12月31日	前期 自2007年1月1日 至2007年12月31日
売上高	62,537,972	68,204,841
売上原価	43,676,836	47,353,316
売上総利益	18,861,136	20,851,524
販売費及び一般管理費	12,662,722	12,062,564
営業利益	6,198,413	8,788,960
営業外収益	260,261	314,058
営業外費用	616,536	1,390,934
経常利益	5,842,137	7,712,084
特別利益	-	3,793
特別損失	1,504,483	73,160
税金等調整前当期純利益	4,337,653	7,642,718
法人税、住民税及び事業税	1,833,548	2,342,728
過年度法人税等	-	713,790
法人税等還付額	-	△64,995
法人税等調整額	△525,155	△121,362
当期純利益	3,029,260	4,772,557

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

区分	当期 自2008年1月1日 至2008年12月31日	前期 自2007年1月1日 至2007年12月31日
⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー	6,947,620	6,697,424
⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,773,020	△4,389,540
⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,100,578	△2,193,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	△842,896	△2,909
⑨ 現金及び現金同等物の増加額	△2,768,875	111,598
現金及び現金同等物の期首残高	13,520,940	13,409,342
現金及び現金同等物の期末残高	10,752,065	13,520,940

当期のポイント

POINT

- ⑥ 税金等調整前当期純利益が43億3770万円、減価償却費が41億円となった一方、たな卸資産の増加額が16億1110万円、法人税等の支払額が21億6500万円となったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは69億4700万円の収入(前期比3.7%増)となりました。
- ⑦ 設備投資を中心とした有形固定資産の取得による支出が46億円となったこと等により、投資活動によるキャッシュ・フローは57億7300万円の支出(前期比31.5%増)となりました。
- ⑧ 自己株式の取得による支出が15億円、配当金の支払額が16億9300万円となったこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは31億円の支出(前期比41.4%増)となりました。
- ⑨ 前期末に比べて27億6800万円減少しました。

当期のポイント

POINT

- ① 現金及び預金が27億6800万円、受取手形及び売掛金が18億5300万円それぞれ減少したこと等により、前期末に比べて28億6100万円減少しました。
- ② 投資その他の資産が3億6300万円増加した一方、有形固定資産が2億4100万円、無形固定資産が2億3500万円それぞれ減少したこと等により、前期末に比べて1億1300万円減少しました。
- ③ 厚生年金基金脱退損失引当金が11億4900万円発生した一方、買掛金が9億3300万円、未払法人税等が3億8800万円減少したこと等により、前期末に比べて6億8900万円減少しました。
- ④ 長期借入金が増加したこと等により、前期末に比べて1億5000万円減少しました。
- ⑤ 利益剰余金が13億3600万円増加した一方、株主還元としての自己株式取得15億円により、前期末に比べて1億6300万円減少しました。

連結株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:千円)

当 期 (自2008年1月1日 至2008年12月31日)	株 主 資 本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計		
2007年12月31日 残高	6,923,075	7,440,327	20,453,466	△21,042	34,795,826	465,560	35,261,387
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当			△1,692,525		△1,692,525		△1,692,525
当期純利益			3,029,260		3,029,260		3,029,260
自己株式の取得				△1,500,185	△1,500,185		△1,500,185
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△1,971,026	△1,971,026
連結会計年度中の変動額合計	-	-	1,336,735	△1,500,185	△163,449	△1,971,026	△2,134,476
2008年12月31日 残高	6,923,075	7,440,327	21,790,201	△1,521,227	34,632,377	△1,505,465	33,126,911

貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

区分	当期 2008年12月31日 現在	前期 2007年12月31日 現在
〔資産の部〕		
流動資産	23,544,665	24,427,944
固定資産	15,632,315	15,588,633
資産合計	39,176,980	40,016,578
〔負債の部〕		
流動負債	8,435,359	8,144,211
固定負債	2,676,977	2,659,363
負債合計	11,112,337	10,803,574
〔純資産の部〕		
株主資本	28,074,099	29,095,440
評価・換算差額等	△9,455	117,563
純資産合計	28,064,643	29,213,003
負債純資産合計	39,176,980	40,016,578

損益計算書(要旨)

(単位:千円)

区分	当期 自2008年1月1日 至2008年12月31日	前期 自2007年1月1日 至2007年12月31日
売上高	58,414,367	62,449,966
売上原価	45,771,360	48,951,428
売上総利益	12,643,007	13,498,537
販売費及び一般管理費	9,604,910	8,977,226
営業利益	3,038,096	4,521,310
営業外収益	1,880,158	1,288,172
営業外費用	594,089	1,256,883
経常利益	4,324,165	4,552,599
特別損失	1,504,483	73,160
税引前当期純利益	2,819,681	4,479,439
法人税、住民税及び事業税	1,099,982	1,260,466
過年度法人税等	-	713,790
法人税等調整額	△451,670	△30,591
当期純利益	2,171,369	2,535,775

株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:千円)

当期 (自2008年1月1日 至 2008年12月31日)	株主資本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計		
2007年12月31日 残高	6,923,075	7,440,327	14,753,079	△21,042	29,095,440	117,563	29,213,003
事業年度中の変動額							
圧縮記帳積立金の取崩し			-				-
剰余金の配当			△1,692,525		△1,692,525		△1,692,525
当期純利益			2,171,369		2,171,369		2,171,369
自己株式の取得				△1,500,185	△1,500,185		△1,500,185
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						△127,019	△127,019
事業年度中の変動額合計	-	-	478,844	△1,500,185	△1,021,340	△127,019	△1,148,360
2008年12月31日 残高	6,923,075	7,440,327	15,231,924	△1,521,227	28,074,099	△9,455	28,064,643

タムロン鉄道風景コンテスト
「私の好きな鉄道風景ベストショット」

入賞作品写真展を開催



大賞受賞作品(一般の部:さいたま市長賞)
伊東 政男 様 作品「往く人来る人」

地域の活性化と鉄道文化の振興に貢献することを目的とした、「タムロン鉄道風景コンテスト」の入賞者全員の作品を一堂に展示しての「入賞作品写真展」を2008年10月15日より10月21日までの7日間、大宮タカシマヤ 8階催場にて開催いたしました。多くの取材陣が取り囲み盛大に行われたオープニングセレモニーでは、来賓を迎えてのテープカットや、「一般の部」と「小中高の部」大賞受賞者の表彰を行いました。

応募人数1,100名、応募総作品数3,741点と多くの方にご応募いただいた貴重な作品は、鉄道写真家 広田尚敬氏と、フォトライター「鉄子」として人気の矢野直美氏により厳正な審査が行われ、全86名の方が入賞いたしました。今回初めての開催ながら、全国各地から多数の応募があったこともあり、今後も継続して同コンテストを行ってまいります。




大賞受賞作品(小・中・高校生の部:さいたま商工会議所会頭賞)
宮本 春奈 様 作品「来年の夏も会おうね。」

応募人数	応募総作品数	入賞者
1,100名	3,741点	86名

会社概要		2008年12月31日現在
商号	株式会社タムロン	
創業	1950年11月1日	
設立	1952年10月27日	
本社	埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地	
資本金	69億23百万円	
従業員数	5,571名(連結)	

役員		2009年3月27日現在
代表取締役社長	小野 守男	
取締役副社長	河野 昭二	
取締役副社長	太田 均	
専務取締役	白井 義博	
専務取締役	長島 久明	
常務取締役	川合 喬	
取締役	関 廣司	
取締役	新井 宏明	
取締役	志村 忠寛	
常勤監査役	大川 清司	
常勤監査役	益子 幸雄 ※	
監査役	富吉 紀夫 ※	
監査役	西本 恭彦 ※	

※社外監査役



品質マネジメントシステム企業登録
ISO 9001 取得

タムロンは、国際的な品質マネジメントシステムの規格、ISO9001に適合認定されています。

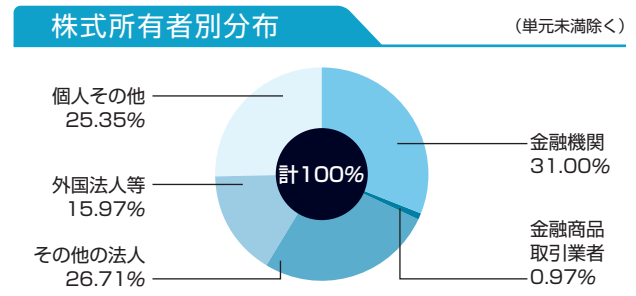
環境マネジメントシステム企業登録
ISO 14001 取得

タムロンは、地球環境対策にも積極的に取り組んでいます。

株式の状況		2008年12月31日現在
発行可能株式総数	80,000,000株	
発行済株式の総数	28,235,000株	
単元株式数	100株	
株主数	9,626名 ※単元未満除く	

大株主(上位10名)			2008年12月31日現在
株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)	
株式会社ニューウェル	4,898	17.34	
ソニー株式会社	3,129	11.08	
株式会社宏友興産	1,529	5.41	
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 株式会社みずほ コーポレート銀行)	1,361	4.82	
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	3.97	
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	1,079	3.82	
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口4G)	936	3.31	
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	797	2.82	
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	509	1.80	
タムロン協力会社持株会	434	1.53	

注) 1. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。
2. 上記の他に、当社が所有している自己株式784千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合2.77%)があります。



株主メモ	
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年12月31日
	期末配当 毎年12月31日
	中間配当 毎年6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) ※取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店並びに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 ※ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 当社ホームページ http://www.tamron.co.jp

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。ぜひご利用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品情報
- お問い合わせ
- CSRへの取り組み
- 採用情報
- IR情報

タムロン・フォトサイト
写真の様々な楽しみをご紹介します。ぜひご覧ください。

タムロン・プロニクラブはこちら



株主の皆様の声をお聞かせください

インターネットでアンケート!!

当社は、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、下記の方法にてご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7740

いいかぶ 検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信
kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL : 03-5777-3900 (平日10:00~17:30)
MAIL : info@e-kabunushi.com

※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

タムロン トップページ

投資家の皆様へ財務情報や、IR関連ニュースはこちらをご覧ください。

CSRへの取り組み
P.12で紹介しております。社会・環境への取り組みについて詳しくはこちらをご覧ください。



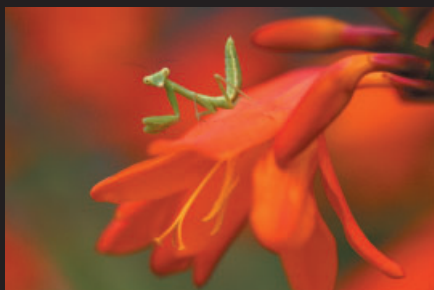
第6回 タムロン マクロレンズ フォトコンテスト 作品募集

募集期間：2009年3月26日～10月31日

第1回～第5回までのタムロン マクロレンズ フォトコンテスト受賞作品



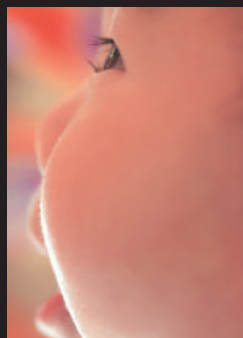
第5回グランプリ受賞作品



第4回グランプリ受賞作品



第2回グランプリ受賞作品



第3回グランプリ受賞作品



第1回グランプリ受賞作品

TAMRON MACRO LENS PHOTO CONTEST

●詳しくは当社ホームページ上にも掲載しています。

「マクロレンズをのぞくと、標準レンズとは全く別の世界が広がる」そんな写真愛好家たちの無限の発想を発掘することができるユニークなコンテストは、今年で6回目を数えます。もちろん参加条件は、マクロレンズを使用すること。当社ではこのような写真・映像文化を発展させるための様々な活動を行っています。

第6回 タムロン マクロレンズ
フォトコンテスト作品募集

お問い合わせ：株式会社タムロン マクロレンズ フォトコンテスト事務局
電話 03-3251-3860 FAX 03-3251-3863

応募規程：マクロレンズ（メーカー問わず）で撮影された写真。テーマは自由。

応募形態：キャビネサイズ（2L）～四切ワイドプリントまで（白黒・デジタルホームプリント可）。

募集期間：2009年3月26日（木）～10月31日（土） ※当日消印有効

応募方法：当社ホームページ内の「タムロン マクロレンズ フォトコンテスト」紹介ページから応募用紙をダウンロードするか、応募用紙を自作して応募してください。1人何点でも可（ただし単写真に限る）。

詳細はホームページをご覧ください。http://www.tamron.co.jp/index_p.html

株式会社タムロン

〒337-8556
埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地

TEL 048-684-9111 (代)
FAX 048-683-8289
<http://www.tamron.co.jp>

■IR情報関連に関するお問い合わせ
経営企画室

TEL 048-684-9114 (午前9:00～午後5:20)
FAX 048-683-8282
e-mail : kabushiki@tamron.co.jp



ミックス品

FSC認証林及び管理された
森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert. no. SGS-COC-2499
© 1996 Forest Stewardship Council